

市の基本方針

今出川におけるLRT構想

自民党

今出川通沿線には多くの神仏寺院、各種の美術館や伝統文化の拠点などもある地域で、特に沿線には多くの学校がある。この今出川通に公共交通機関を整備することで、にぎわいと観光客の東西の流れをよくしたいと長年考えている。そこで今出川通のLRT構想について、聞きたい。



LRT交通社会実験

西京区役所の総合庁舎化

自民党

西京区役所は、狭く、老朽化が進み、区民サービスの多様化等に対応できない。また、区からの交通の便が悪く、保健所も離れており、利用しにくい。区民の利便性の向上と区役所の機能強化を図るため、交通の便利な場所に用地を確保し、早急に総合庁舎化に向けて取り組む必要があると考えるが、どうか。

本市では、区役所に福祉・保健部門を統合し、総合的に市民サービスの向上を図る取組を進めるとともに、ハード面では、老朽化等の度合いを助案しつつ、条件の整ったところから順次、総合庁舎化を進めたい。西京区役所は、本市基本計画で総合庁舎化による条件整備を行うこととしており、できるだけ早期に整備に向けた計画を策定する。

議員の不祥事に對する見解

共産党

議員の犯罪、不祥事は、市民は大変な立ち止まりを感じ、不祥事発生の要因となつたものを既に出し切ったと考えているのか。不祥事発生の要因を一つ一つ、不祥事を抑止する仕組みが構築され、議員の行動にも公務員としての自覚が醸成されつつあると実感している。しかしながら、現時点では、うみのすくえを出し切った状態ではないと認識している。

今後とも、細目を挙げて、不祥事根絶の取組に力を傾注し、市民の皆様への信頼回復と市役所の再生を必ず実現させる決意である。

まちづくりと観光の振興

都市戦略としての新たな景観政策

自民党

新たな景観政策により高層ビルを抑制する。市民的・大規模な開発を要する。時を超え光輝く京都の景観づくりを審議会の審議を経て出された。この景観政策は、美しい歴史的景観を保つための大方針であるが、本市の将来にとって本筋に誤りはない都市戦略なのか。

歴史都市・京都の景観は、貴重な資源であり、破壊が止まず、貴重な景観資源や眺望景観が失われ続けている。このままでは、京都の備わった魅力がなくなるとの危機感を感じ、審議会からの答申に基づき、新たな景観政策を提案した。新景観政策は、景観を再生し、未来の世代に継承していく。国家戦略としての京都創生事業の一環で、今講じなければならぬ重要な都市戦略であると確信している。

新たな景観政策の周知と住民参加

共産党

新たな景観政策を進めるには、その周知徹底と住民参加の確保が重要である。地区ごとの計画には、住民やまちづくり団体の提案や意見を受け入れる仕組みを作り、住民にとって改善が必要な場合は計画変更の手続きを行うことなどを明確にするべきであるが、どうか。



景観シミュレーション（職住共存地区内の通り景観）

新たな景観政策については、府からは、20年度以降、22年度当初予算までに、順次、解消を図っていくとの回答を得ている。

京北地域の合併記念の森構想の実現

自民党

京北地域の合併記念の森は、構想から3年近く経過したが、いまだに着手されていない。地域の勢いの確保や若者の流出防止のためにも、一刻も早い具体化を希望する。経済効果や活性化を生み、産業につながる計画とするべく、実現のためのしつかりとした人材配置が重要と考えるが、その目途や予算はどうか。

引き継いだ市有林は、京都の木文化を継承発展させる森づくりを基本に、観光や野外学習活動の場としての活用を通じて、地域の雇用促進や活性化につなげる。運営は民間の知恵や力を活用する。整備経費は約2億3千万円を見込んでおり、現在、具体的な整備計画を検討しているが、本年中には全体計画を取りまとめ、早期実現に向けて積極的に取り組む。

活用した観光案内

公明党

本市では、これまで、まちの随所に観光案内図板や案内標識等を整備してきたが、今後は、これらに加え、観光客に



付近観光案内図板

保健福祉の充実と環境保全

子どもの医療費助成制度の拡充

共産党

本年9月から子どもの医療費の入院分の助成の対象年齢が拡充され、通院分の自己負担の限度額が引き下げられたが、若い世代には負担が大きい。早急に通院も含めて小学校卒業まで対象を拡大し、負担額も無料にするべきである。また、忙しい子育て家庭のためにも、備置払いではなく、上限額を超える窓口負担をなくすべきではないか。

妊婦検診の拡充

公明党

妊婦検診の現状は、妊娠初期から分娩まで14回程度の実施で、検診費用は一人平均約17万円と大きな負担になっている。無料検診の回数については、厚生労働大臣が地方財政措置により5回に拡充する考えを示したことなどから、実施は難しい。

福祉医療制度に際する補助率格差の解消

自民党

福祉医療制度における府の補助率の格差は、子ども医療では解消されたが、障害者や老人医療などでは解消されていない。これらパーセントの補助率格差の解消に向けて、府との協議を進めているが、また、早期解消の目的は立っているのか、開きたい。補助率格差の解消は、制度発足以来、長年の重要課題であり、これまで、幾度も府に申し入れてきた。

鴨川上流域の環境保全

共産党

鴨川の環境保全のため、上流に現存する違反建築物の撤去に向け、厳格な対応を求める。また、今後、府が提案予定の条例に本市が積極的に協力しなされるべきである。府の条例は、産業廃棄物中間処理施設等により破壊の一途をたどる。府の条例を踏まえ、重要な河川環境を保全することとが重要と考えるが、どうか。



鴨川上流域の自然 雲ヶ畑地域

教育の充実と文化の振興

若年者の正規雇用拡大の取組

共産党

若年者の正規雇用拡大の取組は、雇用行政を所管する国や府が既に取り組んでいる。本市では従来の職業的自立支援のほか、青少年のキャリア教育や課題解決のための支援に重点的に取り組む。また、ヤングジョブスポットの機能を継続し、関係機関等とのネットワークを19年度から民間団体等にも呼び掛けて拡充していく。

テキストスタイルミュージアムの建設

自民党

本市は、京都創生の実現のため、国立歴史博物館の整備を国に提案している。しかし、京都国立博物館や市内に膨大に所蔵されているテキストスタイルを活かしたテキストスタイルミュージアムを、学校跡地などに、京都国立博物館の分館として建設する方がむしろ適切であり、世界への中枢・情報機能が大いに発揮されるかと考えるが、どうか。

障害者福祉施策の推進

自民党

本市の精神障害者福祉は、到達点では不十分だが、この10年間ですべての利用料も障害者自立支援法による利用料も全国に先駆けて負担が軽減された。今後は、障害福祉計画の完遂と、今なお残る精神障害者への誤解等をなくする努力が必要である。そこで、今後の施策の推進についての決意を聞きたい。

精神障害者に対する取組

共産党

精神障害者については、市民の正しい理解を得るための取組を障害者施策推進プランに基づき進めてきたが、今後は、法施行を機に、福祉サービス等の充実を策定中の障害福祉計画に盛り込み、実行する。そのためには、市民の協力が重要であり、各区での住民や関係機関の連携による地域交流事業の充実など、層の普及啓発に取り組んでいく。

意見書・決議要旨

公正職務執行条例(仮称)の早期制定を求める決議

自民党

2月定例会では、意見書1件と決議3件を可決しました。審議結果は4面参照。意見書については、内閣総理大臣など、関係機関に提出しました。

「子どもを共に育む京都市民憲章」を推進する決議

共産党

子どもを共に育む京都市民憲章を推進する決議。本市は、本市民憲章の積極的な普及啓発に努め、社会のあらゆる場において実践されるよう取り組み、市民くみりて子どもたちを健やかに育む気運をより一層盛り上げていくことを強く求めることと、市民会として、憲章の着実な推進に向け、強力に支援していく。

新たな景観政策の推進に関する決議

自民党

新たな景観政策の実施の過程では、市民や事業者の不安をはじめ、様々な課題と困難が予想されるが、引き続き、市民や事業者の不安を払拭するために十分な説明責任を果たすことと、全力を注ぎ、市民や事業者と共に歩みを進めたい。また、日本全体の歴史都市・京都を次の世代に継承することができよう、新たな景観政策の実現に一丸となつて、不退転の決意で取り組むことが必要である。そのために、次の事項を万全の体制で実施することとする。

- 1 他都市をリードする新たな景観政策を位置付け、政策の検証システムを構築すること。
- 2 今後、市民や事業者へ新開や説明会等あらゆる方法・機会を活用し、分かりやすく効果的な周知徹底を図ること。
- 3 既存不適格なマンション等につき、追加担保の要求や新たな融資が拒否されることのないよう、金融機関に要請すること。また、分譲マンションの建て替え等が円滑に進むよう、更なる支援の充実、アドバイザー派遣や新たな耐震助成の制度を創設すること。
- 4 本市施行の建築物は、歴史都市・京都にふさわしい建築物とすべく、進んでいくデザイン基準に準拠できるよう専門家等との連携を図り、十分な協議を行う協働システムを早急に構築すること。
- 5 狭小宅地以外でも、宅地の形状等により、デザインや門などの設置に柔軟に対応し、風通しを確保しつつ、周辺環境に調和した意匠であれば和風以外も認めること。
- 6 京町家等の景観重要建築物の維持管理の助成や買取制度を推進すること。
- 7 テキスタイルミュージアムに組織的に対応できる十分な体制を整え、審査基準を明確にすることと、職員を資質向上のための研修等を実施し、迅速かつ的確な審査を行うこと。
- 8 屋外広告物の違反対策として、規制指導体制を十分に整備し、違反業者、広告主に對する毅然とした対応を強化し、速やかに違反広告物の是正、良好な広告物の誘導を図ること。

市会が採択した請願

一元化児童館の整備
マンション建設の指導
2件(左京区)

本会議の代表質疑から

2月26・27日の本会議では10人の議員が各会派を代表して、平成19年度一般会計予算などについて市長や関係理事者に質疑を行いました。本号では、その主なものをお伝えします。

自民党=自由民主党京都市議員団、共産党=日本共産党京都市議員団、公明党=公明党京都市議員団、民主・都=民主・都みらい京都市議員団

いじめ防止プログラムの導入について

公明党

いじめ問題の背景に子どもたちのストレスが大きい関係していることから、時間を掛けていじめを減らし、最終的にいじめを減らすべく取組として、いじめ防止プログラムを導入している。予防教育の視点に立ったいじめ防止プログラムの研究実践が他都市で行われ、効果を上げています。予防教育の視点に立ったいじめ防止プログラムの導入について、是非検討してほしいが、どうか。

青年の雇用対策

共産党

本市では、保護者や地域等と共にいじめの根絶の取組を進めてきており、子どもたちが安心して立ち向かうアビリティを全市中学校生徒全員で行うなど、生徒会を中心にいじめを許さない

青年の雇用対策

共産党

本市は全庁挙げて青年労働者の雇用実態等を把握し、独自の支援策を検討するとともに、その権利保障のため、労働局や府と連携を強化し相談窓口を開き、企業の啓発指導等を実施したい。また、国が廃止を発表したヤングジョブスポット事業について、本市は独自で事業の継続と充実を

若年者の正規雇用拡大の取組

共産党

若年者の正規雇用拡大の取組は、雇用行政を所管する国や府が既に取り組んでいる。本市では従来の職業的自立支援のほか、青少年のキャリア教育や課題解決のための支援に重点的に取り組む。また、ヤングジョブスポットの機能を継続し、関係機関等とのネットワークを19年度から民間団体等にも呼び掛けて拡充していく。

若年者の正規雇用拡大の取組

共産党

若年者の正規雇用拡大の取組は、雇用行政を所管する国や府が既に取り組んでいる。本市では従来の職業的自立支援のほか、青少年のキャリア教育や課題解決のための支援に重点的に取り組む。また、ヤングジョブスポットの機能を継続し、関係機関等とのネットワークを19年度から民間団体等にも呼び掛けて拡充していく。

キャリア教育

共産党

キャリア教育、勤労観及び職業観の育成を目的として、平成19年度から京都市立高等学校15校にキャリア教育センターを設置し、専任教員等によりキャリア教育の充実を図る。また、キャリア教育の推進を支援する能力を高める教育

そのほかの主な質疑

障害者自立支援法施行に伴う利用者負担の軽減策(自民党)
30人学級の実現(共産党)
乳幼児健康支援サービス(公明党)
住民自治活動の活性化(民主・都)